



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

患者支援センター

地域医療連携室ニュース



2022年 新年号

川崎幸病院 患者支援センター 地域医療連携室 TEL:044-544-4611(代)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27



新年明けましておめでとうございます



石心会グループ代表
社会医療法人財団 石心会 理事長
石井 暎禧

謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は石心会グループの医療連携にご協力を賜り誠にありがとうございました。新型コロナウイルスの新たな変異株が世界的に登場する中、当グループも地域の先生方と同様に、地域の医療体制を維持すべく努めております。コロナ禍において、診療の継続は容易なことではありませんが、この状況に対応すべく地域の先生方と連携しながら、引き続き地域から求められる医療を継続・推進していきたい所存でございます。

本年も患者さんの健康・福祉に貢献し、地域の先生方の期待と信頼に応えられるよう努めてまいりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

本誌におきましては、川崎幸病院、さいわい鶴見病院、川崎幸クリニック、第二川崎幸クリニック、川崎クリニック、さいわい鹿島田クリニック、新緑脳神経外科、在宅事業部のご紹介をさせていただきます。





川崎幸病院
院長
山本 晋

川崎幸病院は法人理念である「患者主体・断らない」に徹底的にこだわり、求められる以上の医療を提供するための組織改革を進めています。現在の限られた病床数の中で病院の主軸を、

- 1: 川崎幸病院のidentityである脳心血管治療・がん治療
- 2: 地域で必要とされる泌尿器科・婦人科等の地域医療
- 3: 総合内科・救急医療を基礎とする医療者教育

と定め、地域のニーズに応えつつも世界的レベルの医療を展開し、将来の有能な医療人を輩出するという使命を川崎幸病院は担い続けていきます。



<https://saiwaihp.jp/>

神奈川県川崎市大宮町31-27
Tel044-544-4611(代)

診療科

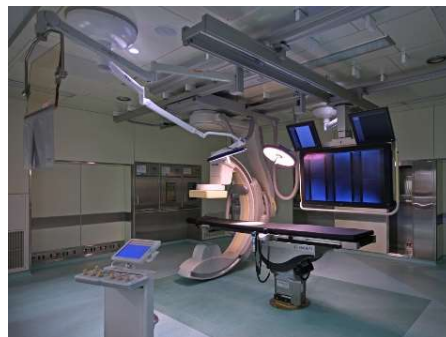
内科／腎臓内科／消化器内科／循環器内科／心臓外科／外科／消化器外科／乳腺外科／脳神経外科／脳血管内治療科／泌尿器科／大動脈外科／婦人科／形成外科／呼吸器外科／放射線治療科／放射線診断科／麻酔科／病理科／リハビリテーション科／救急科／感染制御科／整形外科(初期対応のみ)

川崎幸病院 2021年実績

- 救急車受入台数：8,871台
- ドクターカー出動件数：557件



- 救急外来受診患者数：14,675人



- 手術件数：5,034件
- 緊急手術件数：1,163件
- 入院患者数：10,247人



脳血管センター・低侵襲脊椎脊髄センター

※当院は日本脳卒中学会より一次脳卒中センター(Primary Stroke Center)に認定されました。

脳血管センター長／脳神経外科主任部長 壺井 祥史



当センターは常勤の日本脳神経外科学会専門医5名を含む全8名体制で、脳血管障害の内科的治療、血管内治療および直達手術による外科的治療を行っています。特に急性期脳梗塞に対しては、より迅速に検査を行うことで治療開始までの時間を短縮しています。社会の高齢化に伴い脳血管障害疾患が増加しています。私たちは、同疾患に対し先進医療を含めた超急性期医療の提供を24時間365日可能にし、脳血管障害患者さんのより良い機能予後、社会復帰に貢献していきたいと考えています。

※日本脳卒中学会では、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が患者搬入後可及的速やかに診療(rt-PA静注療法を含む)を開始し、脳神経外科的処置や血栓回収療法が行える施設を「一次脳卒中センター」に認定しています。

■ スタッフ

壺井 祥史 脳血管センター長／脳神経外科主任部長
長崎 弘和 脳血管センター副センター長／脳神経外科部長
松岡 秀典 低侵襲脊椎脊髄センター長／脳神経外科部長
大橋 聡 低侵襲脊椎脊髄センター副センター長／脳神経外科医長
成清 道久 脳神経外科医長
橋本 啓太 脳神経外科医員
野上 諒 脳神経外科医員
牧野 英彬 脳神経外科医員

■ 脳卒中ホットライン・脳外科ドクターカー

当センターでは脳神経外科専門医が24時間365日体制で常駐し、救急隊からのホットラインに迅速に対応し、開頭手術・脳血管内治療の両方が常に可能な体制をとっています。また、脳神経外科ドクターカーも運用しており、出勤機会も徐々に増加しています。医療連携をより強固にして急性期脳血管障害に迅速に対応していきたいと思えます。



脳卒中ホットライン

☎:090-2407-9027

■ rt-PA投与(血栓溶解療法)について

当院では少しでも多くの患者さんにrt-PAを投与できるように、血液検査、画像検査を迅速に行うプロトコルを作成し、来院から20～30分でrt-PA投与を行っています。さらにrt-PA投与後すぐに血管撮影室に移動し血栓回収療法を行うことが可能で、来院から60～90分で血管の再開通が得られるような体制を整えています。このことにより従来よりも大幅に治療成績を向上させることができます。

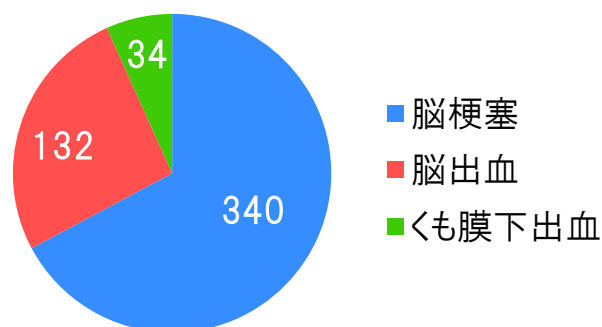
■ 脳梗塞治療実績(2021年)

脳梗塞	340
うち、rt-PA投与	47
うち、血栓回収治療	78

■ 手術件数推移 (2019年～2021年)

	2019年	2020年	2021年
脳動脈瘤クリッピング	36	32	22
(破裂)	(12)	(10)	(8)
(未破裂)	(24)	(22)	(14)
開頭血腫除去術	44	42	58
脳脊髄腫瘍	16	22	29
脳動静脈奇形	4	3	6
バイパス術	19	19	15
脊髄脊椎疾患	8	66	208
慢性硬膜下血腫 (穿頭血腫除去術)	66	59	41
シャント術	26	18	26
MVD (微小血管減圧術)	5	1	4
内視鏡下血腫除去術	2	8	12
その他手術	72	99	138
血管内手術	132	171	173
(コイル塞栓術)	(44)	(59)	(54)
(脳閉塞血管障害)	(88)	(112)	(114)
(上記のうちステント)	(32)	(35)	(21)
合計	430	540	732

■ 急性期脳卒中入院患者の内訳 ※速報値 (2021年:506名)





川崎大動脈センター

川崎大動脈センター副センター長／大動脈外科部長

大島 晋



川崎大動脈センターは、国内最多の手術症例と治療実績をもつ、国内唯一の大動脈疾患治療の専門施設です。

主な診療対象は大動脈瘤・大動脈解離であり、胸部大動脈瘤、胸腹部大動脈瘤、急性大動脈解離を中心とし、また、高齢者や臓器合併症を合わせ持つ重症症例を積極的に扱い、良好な成績を上げています。紹介患者の増加に伴い、いままで highrisk と考えられていた患者が増加傾向にあります。重度の合併症を持たれている患者、超高齢者、再手術あるいは再々手術例、ステント留置後の動脈瘤拡大例、切迫破裂や破裂例などです。この傾向は、今までは手術不可能と診断されていた case が、手術可能であるとの再認識により、私どもに紹介されるようになったと考えています。

■ スタッフ

山本 晋 院長／川崎大動脈センター長

大島 晋 川崎大動脈センター副センター長／大動脈外科部長

《大動脈外科》

尾崎 健介 大動脈外科副部長
櫻井 茂 大動脈外科医長
平井 雄喜 大動脈外科医員
広上 智宏 大動脈外科医員
沖山 信 大動脈外科医員
糸原 孝明 大動脈外科医員
石河 和将 大動脈外科医員
山口 洸 大動脈外科医員
坪 宏一 非常勤医師
持田 勇希 非常勤医師

《血管内治療科》

長谷 聡一郎 大動脈外科副部長
中川 達生 大動脈外科副部長
津村 康介 血管内治療科医員
岩井 健司 血管内治療科医員

■ 累計手術件数(1998年～2021年12月)

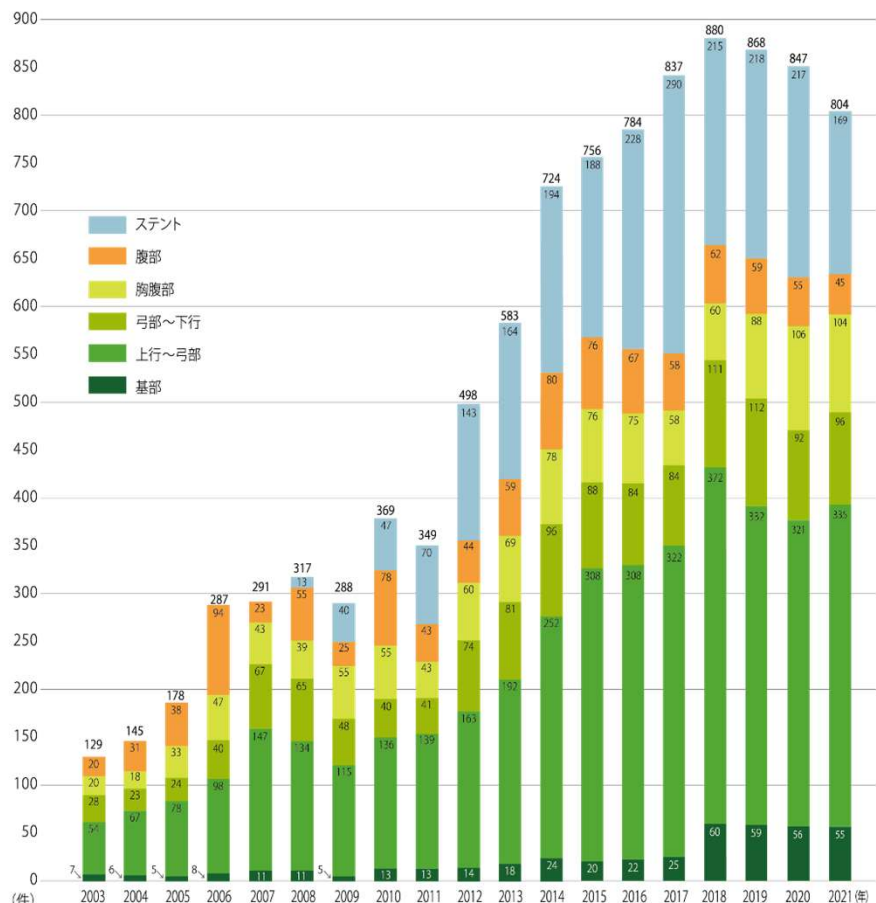
10,418件

■ ドクターカーについて

当センターの大きな特徴として、紹介元病院まで当センター医師が同乗し患者をお迎えに上がるドクターカーシステムがあります。病院到着から手術開始まで全国平均では8時間要しているところ、当院では、ドクターカーシステムにより、病院到着から平均1.9時間で手術開始が可能となっています。

ドクターカーは2012年1月より開始し、年々出動件数・症例数も増加しており、2021年は351回の出動となっています。

■ 実績



大動脈疾患は専門病院での治療が必要です。
大動脈疾患の最後の砦として、
今後も治療成績の向上に努めていきます。



当川崎心臓病センターは、高梨秀一郎心臓外科主任部長のもと、成人心臓血管外科手術全ての領域において、いかなる重症症例でも対応可能です。榊原記念病院からの15年に及ぶ桃原哲也循環器内科主任部長との強力なタッグを継続し、国内最強のハートチームを作り上げています。「心臓の手術をしたら、仕事を辞めなくてはならない」「もう運動は控えなくてはならない」と悩んでいる方も多くいらっしゃいますが、決してそうではありません。今まで以上に心臓の機能を向上させるのが手術です。以前よりも元気になりたい方、これから自分でやりたいことがある方には、治療をおすすめしています。川崎心臓病センターでは、ドクターカーの運用により搬送も可能であり、迅速に治療にあたる体制を整えています。他の医療機関と緊密な連携のもと患者さんに最適な治療を提供しています。いつでもご相談ください。

■ スタッフ

【医師】 高梨 秀一郎 副院長／川崎心臓病センター長
心臓外科主任部長
内室 智也 心臓外科部長
吉尾 敬秀 心臓外科医長
和田 賢二 心臓外科医長
熊谷 和也 心臓外科医長
湯本 啓太 心臓外科医員
木下 友希 心臓外科医員

【診療看護師】 大川美沙

【心臓外科コーディネーター】 田中 瞳 / 堀川 優



■ 心臓外科の特色

- ① ハイリスク、超高齢者、再手術などの困難症例に対する手術にも対応しています。
- ② 傷が気になる若い方、高齢者にも優しい低侵襲心臓手術を行なっています。
- ③ 難易度の高い治療法も積極的に進めています。
 - 重症肥大型心筋症に対する広範囲心筋切除術、左室形成術
 - 狭心症や心筋梗塞に対する難易度の高い冠動脈バイパス術
 - ◇ びまん性狭窄病変に対してのOnlayパッチ吻合を用いた手法
 - ◇ 心臓の動きを止めないオフポンプ術を積極的に施行
 - 弁膜症に対する心臓外科手術
 - ◇ 増幅弁閉鎖不全症に対する弁形成術
 - ◇ 大動脈弁閉鎖不全症に対する弁形成術
 - ◇ 大動脈弁狭窄症、高齢者ハイリスク大動脈弁狭窄症に対する弁置換術及び経カテーテル的弁移植術

■ ドクターカー

どこへでもお迎えにいきます

044-544-4611(代表) 心臓外科 とお伝えください

■ 心臓外科外来担当医(第二川崎幸クリニック)

	月	火	水	木	金	土
午前	高梨 熊谷/湯本		高梨	和田	吉尾	内室

■ 手術実績 (2021年1月～12月)

冠動脈バイパス術 (off-pump)	115(108)
心筋梗塞合併症・左室形成術	23
単独弁膜症	72
複合手術【CABG,弁,大動脈,不整脈手術】 (CABG同時施行)	126(53)
腫瘍・収縮性心膜炎・その他	13
開心術総数	349

末梢血管(下肢動脈バイパス、血栓除去)26



循環器内科の責任者をしております桃原哲也(トウバル テツヤ)と申します。
当院は、2019年4月よりハイブリッド手術室(Hybrid OR)でTAVI(経カテーテル大動脈弁植え込み術)を開始し、2021年2月からは透析の方を行える施設となり、2021年12月には指導施設となりました。また、2020年9月からは、予定通りIMPELLAという心原性ショックに対する最新の循環補助装置を導入しております。循環器領域の最重症であるショック状態に陥った方にも対応できるようになりました。さらに2021年9月より経カテーテル左心耳閉鎖術(WatchmanTM)、12月より経カテーテル僧帽弁修復術(Mitra clipTM)を開始いたしました。現在、カテーテル室は2室、Hybrid ORは1室あり、フル稼働で検査や治療を行っております。不整脈に対する根治治療であるカテーテルアブレーション治療(電氣的焼灼術)を積極的に行っており、ペースメーカーなどによる治療とともに、不整脈の種類を問わず、最適な治療を提供できる体制を整えています。
2021年12月より川崎心臓病センターに低侵襲治療部門を開設いたしました。以上のように新しい技術を取り入れつつ、心臓病センターとして心臓外科医や他の職種と絆の強い”ハートチーム”を形成しており、地域の方々により一層医療を通じて貢献できるように鋭意努力して参ります。

■ スタッフ	桃原 哲也 福永 博 川上 徹 大西 隆行 羽鳥 慶 高橋 英雄 齋藤 直樹 福富 基城 安藤 智 佐々木 法常 山本 慧 和田 真弥 門間 周 木村 隆大 板倉 大輔	川崎心臓病センター副センター長／循環器内科主任部長／低侵襲治療部門部門長 循環器内科副部長 循環器内科副部長／不整脈部門部門長 循環器内科副部長／低侵襲治療部門副部門長 循環器内科副部長 循環器内科医長 循環器内科医長 循環器内科医長 循環器内科医員 循環器内科医員 シニアレジデント シニアレジデント シニアレジデント シニアレジデント シニアレジデント
--------	--	--



■ 治療実績 2021年1月～2021年12月

冠動脈カテーテル検査(CAG)	2,306
うち)冠動脈カテーテル手術(PCI)	775
うち)緊急PCI	297
末梢血管治療(EVT)	62
ペースメーカー植え込み術	92
植え込み型除細動器(ICD)	3
心臓再同期療法(CRT)	9
カテーテルアブレーション	447
TAVI	159
Watchman TM	12
Mitra Clip TM	2



救急部

副院長／救急部長／呼吸器外科顧問／患者支援センター長 藤野 昇三



当院の救急外来は北米型ERシステムでの診療を行っており、重症度、傷病の種類、年齢によらず、全ての救急患者を診療しています。救急センターは医師・看護師・EMT(救急救命士)・事務(ドクターアシスタント、地域医療連携室)で構成されたチームです。外科系・内科系の区別なく毎日24時間救急患者を受け入れています。他院からの要請があればドクターカー(川崎大動脈センター、川崎心臓病センター、脳血管センター、救急センター)を出動させ救急患者を迎え入れます。そして当院の各診療科の専門医師による専門治療へと繋がります。

No refusal policyを大原則とする当センターですが、2021年1月の新型コロナウイルス第3波では救急車の断りが多数発生してしまいました。この反省に立って、当院が果たすべき救急診療を再確認し必ず実践するという新たな意思表示として、2021年3月1日より救急科は診療部から独立し「救急部」として再出発致しました。救急医療に関係する救急医、看護師、EMT、事務が同じ部門に属することで、職種の隔たりをなくし、ボトムアップ式の考える救急をモットーに、断らない医療を実践すべく一致団結しております。今後も地域医療への貢献を第一義に努力してまいります。今年も宜しくお願い致します。

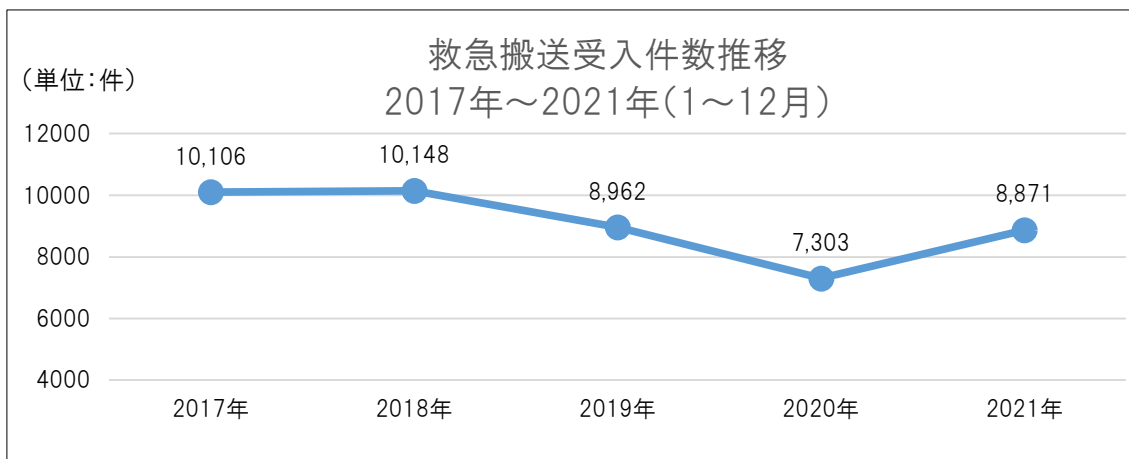
■ スタッフ

藤野 昇三	副院長／救急部長／患者支援センター長
	呼吸器外科顧問／中央診療部門長
高橋 直樹	救急部副部長／
	臨床研修センター副センター長
伊藤 麗	救急部医長
大久保 浩一	救急部医長
保富 亮介	救急部医員
山城 啓太	救急部医員(2022年1月16日入職)



■ 救急診療実績 2021年(1月～12月)

外来患者総数	28,817 人	(割合)
救急外来受診患者数	14,675 人	50.9%
1日あたり	40.1 人	
うち、救急車搬送件数	8,871 件	60.4%
うち、Dr.Car出動件数	557 件	3.8%
うち、独歩来院患者数	5,247 人	35.8%
入院患者数	10,247 人	
うち、緊急入院患者数	4,138 人	40.4%
手術件数	5,034 件	
うち、緊急手術件数	1,163 件	23.1%





外科

副院長／診療部長／外科主任部長 後藤 学



外科は食道外科、消化管外科、肝胆膵外科、乳腺外科、呼吸器外科の領域を担当し主に悪性腫瘍の外科的治療、癌化学療法などを行っております。その他、各領域の良性疾患、一般外科や肥満外科、救急外科領域もカバーしておりスタッフ13名と外科専攻医3名を擁します。手術などの入院治療は川崎幸病院で、患者紹介や癌化学療法の外来診療は第二川崎幸クリニックでおこないます。消化器領域においては消化器内科医師らと密に連携し一体となって診療にあたります。昨今のコロナ禍においては厳重な感染対策のもと本来の使命を全うできるよう、患者さんが安心して医療を受けられるよう今年も努めてまいる所存です。

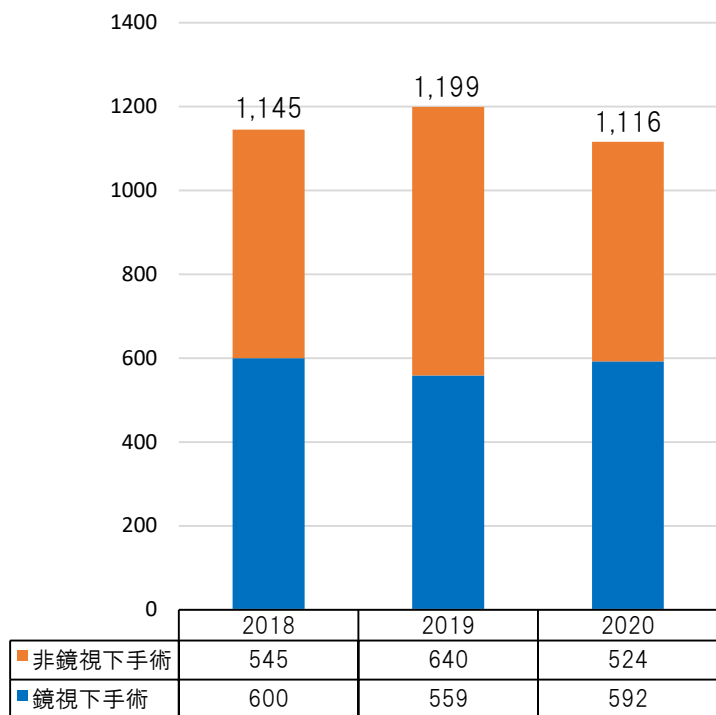
■ スタッフ

後藤 学
日月 裕司
藤野 昇三
成田 和広
原 義明
長山 和弘
木村 芙英
網木 学
小根山 正貴
伊藤 慎吾
石山 泰寛
中村 幸子
関 晶南
富澤 悠貴
望月 一太郎
原田 龍之助

副院長／診療部長／外科主任部長
副院長／食道外科部長／がん治療センター長／臨床研修センター長
副院長／救急部長／患者支援センター長／呼吸器外科顧問／中央診療部門長
外科部長代行／消化管外科部長
肝胆膵外科部長
呼吸器外科部長
乳腺外科副部長
外科医長
外科医長
外科医長
外科医長
乳腺外科医長
乳腺外科医員
シニアレジデント
シニアレジデント
シニアレジデント

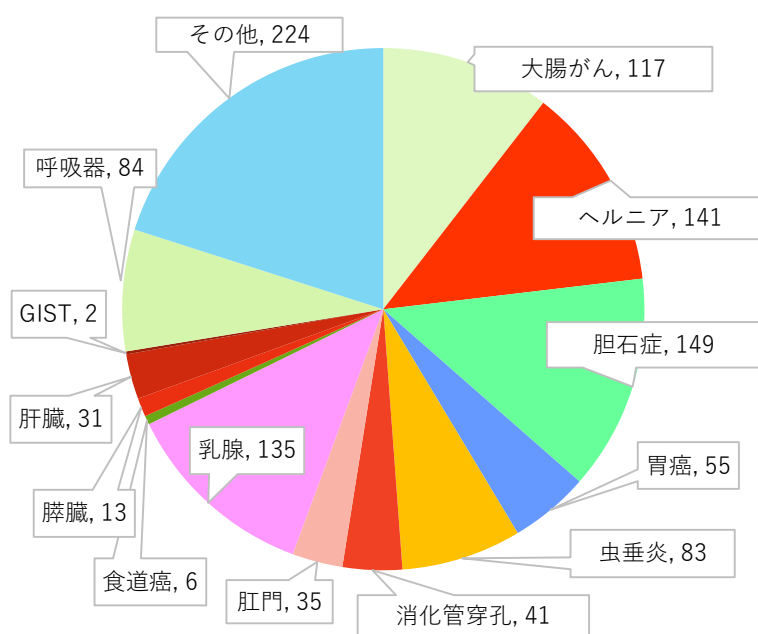


■ 総手術件数と鏡視下手術 年次推移



■ 実績

2020年手術件数内訳(全1,116件)





食道外科部長
日月 裕司

食道がん、食道裂孔ヘルニア、食道穿孔、食道異物などを治療しています。食道がんには胸腔鏡を用いた低侵襲手術を行っています。進行がんには外科治療、放射線治療、化学療法を組み合わせる集学的治療を行います。手術を受けたくない方や手術が難しい方には化学放射線療法を行います。化学放射線療法後のサルベージ手術の経験も豊富で、他院治療後の依頼にも対応可能です。日本食道学会の食道外科専門医と食道科認定医が常勤し、認定施設に指定されています。地域の中で専門病院と同レベルの診療を受けられる医療体制を提供しています。大動脈術後の食道穿孔などの難しい病態にも大動脈外科と協力して対応しています。



消化管外科部長
成田 和広

大腸・肛門までの消化管が担当の中心となります。主な疾患である大腸癌、胃癌は悪性新生物の代表的な疾患であり、外来部門である第二川崎幸クリニックと連携を取り早期発見から手術治療、そして放射線治療や外来化学療法など癌の集学的治療を行い、地域の癌診療の拠点を担っていきます。手術の半数以上を低侵襲である腹腔鏡手術で行っており、内視鏡外科技術認定医も6人を擁し安全を担保しております。高難度な直腸癌の側方郭清や経肛門的にも鏡視下手術で行い、適応も拡大しております。また、高度肥満に対する手術や内痔核に対して切らない治療(ALTA療法)にも対応しております。



肝胆膵外科部長
原 義明

肝胆膵外科では、膵癌、肝癌などの進行癌症例も多いですが、根治性と安全性の両立を第一として手術を行っています。肝切除では術前CT volumetry、3Dシミュレーションなどを用いて、より安全な手術を実施しています。膵癌に対しては術前化学療法を行うことで、以前は切除不能とされた症例でも、切除可能となるケースが増えてきています。症例に応じて、門脈などの血管合併切除も積極的に行い、癌遺残のないR0手術を実施しています。肝切除、膵切除ともに適応症例に対しては腹腔鏡手術も積極的に行っています。早期の手術を心がけておりますので、いつでもご連絡、ご紹介いただければと思います。



呼吸器外科部長
長山 和弘

2019年に開設され、本年度で4年目を迎えます。呼吸器外科専門医2名と非常勤医師2名で診療を行っており、肺・気管・縦隔・横隔膜の部位における疾患を対象としています。手術適応のある患者さんに対しては、病状に応じた過不足のない手術を行うことを心がけています。また、「診断がはっきりしない胸部異常陰影」の診断的気管支鏡検査やCTガイド下生検、切除不能進行再発非小細胞肺癌に対する診断・化学放射線療法も積極的に行っています。肺癌、気胸、肺転移、縦隔腫瘍はもちろんのこと、外科に紹介すべきか迷う症例もまずはご相談下さい。



乳腺外科副部長
木村 芙英

2016年開設以降、先生方のご支援により、センター開設後、乳腺患者数は大きく増加しています。2021年5月に乳腺を専門とする医師を増やし常勤3名体制となり、受け入れ枠を増やすことができました。また、今年はトモシンセシス(乳房の断層撮影)を導入し、さらに精度の高い画像診断を目指してまいります。ブレストセンターでは、乳がんをはじめとする悪性腫瘍の診断・治療、遺伝相談や、乳腺炎、葉状腫瘍、などの良性疾患の診断、治療を専門的に行っています。手術については川崎幸病院外科スタッフや形成外科スタッフと連携し、一般的な乳癌手術や同時再建手術、術後放射線治療を川崎幸病院で行っております。術後の経過観察、化学療法等の薬物療法、切開生検、腫瘍切除は第二川崎幸クリニックにて行っております。個々に合わせたご満足いただける治療を今後とも提供できるようスタッフ一同精進してまいります。



消化器内科は消化器急性疾患に対する24時間対応と消化器全般に関する高度専門医療の提供を2本柱として診療を行っております。

2020年は新型コロナウイルス感染の流行により、日本消化器内視鏡学会より不急の検査を控えるようにとの提言もあり、緊急検査以外の検査は中止していた期間もあったため、内視鏡件数は減少しました。その後、十分な感染対策を行い、通常の内視鏡検査も再開しましたので、2021年は増加傾向にあります。

受診控えによる癌の発見の遅れも危惧されておりますので、安心して内視鏡検査を受けて頂けるように、引き続き十分な感染対策を行ってまいります。

今後も専門的な内視鏡診断、治療で地域医療に貢献出来るように日々精進してまいります。

■ スタッフ

大前 芳男
谷口 文崇
塚本 啓祐
森重 健二郎
岡本 法奈
栗田 裕治
中島 祥裕
小野 颯

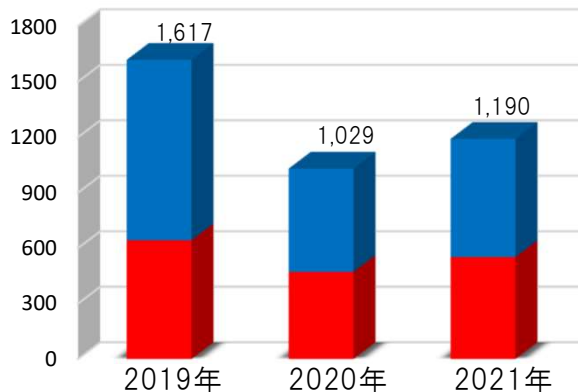
消化器内科部長／内視鏡センター長／がん治療センター副センター長
消化器内科副部長
消化器内科医長
消化器内科医長
消化器内科医長
シニアレジデント
シニアレジデント
シニアレジデント



■ 実績

	2019年	2020年	2021年
上部内視鏡検査	4,317	2,665	2,579
EMR/ESD	145	105	103
止血術	160	104	91
EIS/EVL	52	34	33
胃瘻造設	63	81	76
下部内視鏡検査	3,698	2,618	2,756
EMR/ポリペクトミー	940	742	877
大腸ESD	74	55	66
ERCP	441	401	413
EST/EPBD	213	208	169
結石除去	295	207	203
胆管ドレナージ	277	204	238
EUS	259	181	211

■ オープン検査件数年次推移



■ 上部内視鏡	975	558	639
■ 下部内視鏡	642	471	551

悪性腫瘍に対する診断・治療に特に力を入れ、高度専門医療を提供します

■ 消化管領域

早期胃癌に対して、狭帯域光観察(NBI)や拡大内視鏡を用いた拡大観察により正確な診断を行っております。また、AI診断に関する多施設共同研究に参加し、診断精度の向上に努めております。以前は手術をしていた大きな病変に対しても内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)で低侵襲な内視鏡治療を行っております。

■ 胆道癌

ERCP(内視鏡的胆管膵管造影検査)やIDUS(管腔内超音波検査)等により診断しております。癌の浸潤による閉塞性黄疸にて対して内視鏡的胆道ドレナージを行っており、黄疸を改善させて、手術適応がない場合には化学療法を行っております。

■ 膵癌

超音波内視鏡(EUS)を用いて小さな病変も描出して、穿刺針生検(EUS-FNA)を行い診断しております。手術適応がない場合には化学療法を行っております。



当科は現在常勤5名体制で第二川崎幸クリニック、さいわい鹿島田クリニックでの外来診療および川崎幸病院での入院治療を行っています。

当科は低侵襲治療を診療の基本にしています。前立腺肥大症に対してはレーザーを用いた前立腺核出術(HoLEP)、接触式レーザー前立腺蒸散術(CVP)を症例に合わせて行っています。尿路結石症に対しては体外衝撃波結石破碎術(ESWL)及び軟性腎盂尿管鏡を用いた経尿道的レーザー結石破碎術(f-TUL)の両治療を行っています。また、腹圧性尿失禁の手術治療として中部尿道スリング術(TVT)を行っています。悪性腫瘍についても、手術を最小限の創で行う低侵襲治療を基本におき、可能な限りQOLを低下させずに、その患者さんにとって最適な治療を提供しています。

■ スタッフ

鈴木 理仁	泌尿器内視鏡治療センター長／泌尿器科部長
清水 知	泌尿器科医員
渡邊 蔵人	泌尿器科医員
竹内 晋次郎	泌尿器科医員
林 哲夫	泌尿器科顧問



■ 尿路結石症に対する低侵襲治療

ESWL(体外衝撃波結石破碎術)と軟性ビデオスコープを用いたf-TUL(経尿道的結石破碎術)の両治療により、緊急を含めすべての部位の尿路結石に対応可能となっています。いずれも体に創をつけることなく、低侵襲な治療が可能です。症例によって、日帰り治療または短期間の入院で治療は可能です。

■ CVP(接触式レーザー前立腺蒸散術)

前立腺組織にレーザー光を照射することで前立腺組織を気化して消失させてしまう(蒸散)最新式の低侵襲手術です。レーザーの特徴である、出血量が少なく、抗血栓薬を内服したままでも手術が可能です。

手術時間1時間程度で短く、短期入院(4~5日)で治療可能などのメリットがあります。痛みも少なく、頻尿も改善します。

■ 低侵襲を基本においた手術治療

悪性腫瘍の手術についても、可能な限り小さな創で行う低侵襲治療を基本にしています。当院においては、2018年から腹腔鏡手術も可能となり、腎、膀胱に対して手術を行っています。また、膀胱については腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術も可能となりました。

患者さん一人ひとりの年齢・生活スタイル・治療に求めること・人生観などに合わせて、可能な限り患者さんのQOLを低下させずに、その患者さんにとって最適な治療を提供しています。

■ 実績

			2018年 (1月～12月)	2019年 (1月～12月)	2020年 (1月～12月)
腎癌	根治的腎摘除術	開放手術	2	12	8
		腹腔鏡下手術	2	7	5
	腎部分切除術	開放手術	1	6	4
		腹腔鏡下手術	0	0	0
腎盂・尿管癌	腎尿管全摘除術	開放手術	4	7	12
		腹腔鏡下手術	7	1	5
膀胱癌	膀胱全摘除術	開放手術	4	10	3
		腹腔鏡下手術	0	1	1
	経尿道的膀胱腫瘍切除術		137	135	131
前立腺癌	根治的前立腺全摘除術	開放手術	24	19	14
		腹腔鏡下手術	0	0	0
前立腺肥大症	経尿道的前立腺切除術		24	25	10
	経尿道的レーザー前立腺核出術(ホーレップ)		21	5	1
	経尿道的レーザー前立腺蒸散術		0	13	27
精巣腫瘍	高位精巣摘除術		1	5	4
結石	経尿道的尿管結石碎石術		58	77	96
	経尿道的膀胱結石碎石術		13	18	16
	体外衝撃の碎石術(ESWL)		44	78	37
前立腺癌疑い	経会陰の前立腺針生検術		142	148	159
総手術件数			484	567	533



当院婦人科は、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本婦人科腫瘍専門医が中心となって手術を行っています。特に腹腔鏡手術を得意とし、開腹手術と比べ美容的な面はもちろんのこと、痛みは少なく、入院期間は短く、社会復帰が早いのが特徴です。

良性の疾患に対しては100%近くが腹腔鏡手術で治療しています。安全に確実な手術が可能と診断できれば通常の傷よりもさらに小さな傷で手術を行っています。悪性の疾患に対しても安全で根治性が見込まれれば、腹腔鏡手術で治療しています。また開腹手術の方が適している場合も日本婦人科腫瘍専門医が中心となっており、手術後も科学的根拠に基づいた集学的な治療を提供しています。

当院は日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設、日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設(B施設)などの施設認定を取得しており、常に最新・最善な治療を行っています。

■ スタッフ

長谷川 明俊 婦人科部長
黒田 浩 婦人科医長
岩崎 真一 婦人科医長
新城 梓 婦人科医長
船田 瑛太郎 婦人科医員
大伴 里沙 婦人科医員(第二川崎幸クリニック担当)

■ 骨盤臓器脱(子宮脱、膀胱瘤、直腸瘤)に対する腹腔鏡手術について

当院では、2014年より保険適応となった、体に負担が少なく、再発率が少ない新たな治療法「腹腔鏡下仙骨隆固定術」を実施しております。

「腹腔鏡下仙骨隆固定術」は膣の壁をメッシュで釣り上げ、仙骨に固定する術式です。お腹を大きく切らずに穴だけを開けて行う手術です。



■ 低侵襲で先進的な医療を提供します

当科は婦人科腫瘍専門医、内視鏡技術認定医が中心となり、安全で完成度の高い低侵襲な内視鏡手術を積極的に行っています。

対象疾患としては、子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症などの良性疾患が主な適応ですが、子宮体がんや子宮頸がんなどの悪性腫瘍でも安全性、根治性が高い場合は内視鏡手術を検討します。また、当院は厚生労働省認定先進医療である子宮頸がんに対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術の施設認定を取得しています。

■ 実績

手術件数 内訳		2018年度 (4月～3月)	2019年度 (4月～3月)	2020年度 (4月～3月)
開腹手術	悪性腫瘍手術	32	24	25
	子宮全摘術(良性)	1	2	0
	子宮筋腫核出術	0	0	1
	卵巣腫瘍(良性)	0	1	3
	その他	0	0	0
腹腔鏡手術	腹腔鏡下広汎子宮全摘術	1	4	1
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がん)	9	13	14
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮頸がん)	5	0	2
	子宮全摘	99	131	131
	子宮筋腫核出術	45	45	54
	良性卵巣腫瘍 (子宮内膜症性卵巣嚢腫は除く)	102	87	79
	子宮内膜症手術	39	45	41
	子宮外妊娠	3	6	5
	子宮脱のメッシュ手術 (腹腔鏡下仙骨隆固定術)	17	34	32
	腹腔鏡下試験開腹術	0	2	3
	その他	6	9	8
子宮鏡手術	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	7	14	14
	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、 子宮内膜ポリープ切除術	51	37	52
腔式手術	円錐切除	31	37	29
	その他	36	43	34
その他	埋没型中心静脈カテーテル留置	2	3	1
	婦人科外性器悪性腫瘍手術	0	0	1
総手術件数		486	537	530



形成外科は常勤医2名で、入院手術を川崎幸病院で、外来診療と日帰り手術を第二川崎幸クリニックで行っています。

対象疾患は、顔面を中心とした体表の皮膚・皮下軟部組織腫瘍の切除術を多数行っています。外傷では頬骨、眼窩底、上顎骨・下顎骨、鼻骨などの顔面骨骨折の治療を多く行います。手足の外傷では縫合処置や皮膚移植を必要とするものもあります。

また中年以降から高齢者に好発する眼瞼下垂(瞼が開きにくい)の症例もかなり増加し、通常は2泊3日の局所麻酔入院加療で対応しています。糖尿病、腎疾患、循環器疾患の長期症例では褥瘡などの皮膚難治性潰瘍や四肢末梢血管閉塞に基づく四肢末梢の難治性潰瘍や壊死病変が多発しますので、創傷治癒の遅延や壊死の進行を予防するための下肢救済手術を多数行っています。

また、当院では顔面の諸々の変形に対する積極的な外科手術や傷痕の出来る限りの修正手術も行います。

■ スタッフ

佐藤 兼重 形成外科部長／形成外科・美容外科センター長
金 佑吏 形成外科医員
石井 麻衣子 非常勤



■ 実績 (2020年1月～12月)

総入院手術件数 315件(内、全身麻酔233件、局所麻酔82件)

日帰り手術 368件(局所麻酔手術283件、美容レーザー手術・ボトックス・ヒアルロン酸注入治療85件)

■ 形成外科診療

2020年1月から12月までの1年間で315件の入院手術(うち全身麻酔233件、局所麻酔82件)、368件の日帰り手術を行いました。体表の皮膚腫瘍は良性がほとんどですが、悪性の腫瘍も時にあり、切除後に植皮術や皮弁形成術の治療を行っています。眼瞼下垂手術は増加傾向にあり、高齢者のADL改善に多大な貢献となっています。その他には顔面神経麻痺後の顔面形成術や顔面骨の変形に対する上顎骨や下顎骨の骨切り手術を施行してきました。また外科系手術後や外傷後に治癒の遅延している創傷や治癒の遷延化した慢性皮膚潰瘍に対して持続陰圧閉鎖療法(VAC)を併用した創傷外科(きず)治療を積極的に進めております。体表の創(きず)はできるだけ速やかに創閉鎖されるような治療を心がけております。さらに乳腺外科の充実に伴い、乳癌摘出後の乳房再建手術も多く行います。

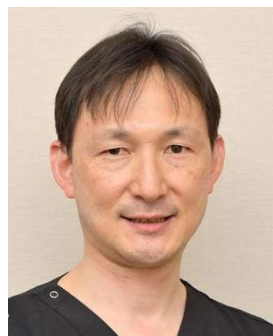
2018年に日本形成外科学会認定の研修施設認定病院となり、後期研修医を受け入れ可能の研修施設となりました。そして千葉大学附属病院形成外科の連携施設として機能し非常勤医師の支援を受け、形成外科の川崎地区近隣の地域医療を推進しています。

■ 美容外科センター

美容外科センターでは、美容外科・美容医療診療に対応します。殊にQスイッチルビーレーザーが活用され、顔を中心としたシミの治療を多数行っておりますが、シミの治療はレーザー照射のみではなく、その他の多面的なケアを行っています。それ以外の美容外科手術は増加傾向で、二重瞼、鼻整形、頬の引き上げ手術、ワキガ治療、ヒアルロン酸注入、ボトックス注射などもおこなっております。簡便な脂肪吸引や脂肪注入手術によって顔面の凹凸を治療することもあります。

その他顔面輪郭修正治療希望の多くの患者さんには顔全体のバランスを考えた治療のカウンセリングを多く行います。

形成外科・美容外科は2名の常勤医、2名の非常勤医体制で診療を進めます。



腎臓内科では尿蛋白、尿潜血などの尿検査異常の精査から末期腎不全の透析導入・維持管理まで包括的に腎臓病を管理する体制を整えています。腎臓病の発症、進展に関与する疾患は高血圧、糖尿病、自己免疫疾患、血液疾患など多岐に及び総合内科的な診療を実践しています。血液透析シャント手術や腹膜透析カテーテル関連手術についても透析を管理している内科医自身が行っています。



■ スタッフ

宇田 晋	腎臓内科主任部長
小向 大輔	腎臓内科部長
塚原 知樹	腎臓内科医長
山崎 あい	腎臓内科医員
柏葉 裕	腎臓内科医員
左近 真生子	腎臓内科医員
谷亀 元香	腎臓内科医員
下川 麻由	腎臓内科医員

■ 実績

透析導入

	2018年度	2019年度	2020年度
HD導入	47	47	47
CAPD導入	12	13	13

腎生検査:26件

lgA腎症、膜性腎症、微小変化型ネフローゼ症候群、半月体形成性腎炎、良性腎硬化症、ファブリー病、ループス腎炎、紫斑病性腎炎 など

治療実績

	2018年度	2019年度	2020年度
バスキュラーアクセス増設術	63	72	73
シャントPTA	40	82	85
透析長期留置カテーテル挿入	18	18	21
腹膜透析カテーテル挿入	19	19	16

■ 慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病

- ・ 腎生検を行って確定診断し、適切な治療法を選択します。
- ・ lgA腎症には扁桃腺摘出術に加え、副腎皮質ステロイドのパルス療法を行います。
- ・ 頻回再発型、ステロイド依存性特発性ネフローゼ症候群の患者さんに対して状況によりリツキシマブ投与を行うこともできます。
- ・ 腎のみならず心血管病のスクリーニングも行います。
- ・ 推算GFRが予想以上に低値と思われる患者さんには外来で「イヌリンクリアランス測定」を行うことにより、「真の」GFRを測定することができます。

右記のような患者さんをご紹介します

当科に患者さんをご紹介いただく際の、一つの目安としてお考えください。先生方からのご紹介に対して迅速に対応させていただきます。
今後ともよろしくお願い致します。

- ① 0.50g/gクレアチニン 以上、2+以上の蛋白尿
- ② 蛋白尿と血尿がともに陽性(1+以上)
- ③ 推算GFR<50mL/分/1.73m²
- ④ 血圧のコントロールがつきにくい
- ⑤ 腎機能が次第に悪くなる



放射線治療センターは、2021年7月に新規開設から丸9年を迎えました。この間に治療症例数は順調に増加し、2021年の治療症例数は過去最多の272例となり、2021年12月末までの新患数は1,790例となりました。これもひとえに地域の関連医療機関の皆様のご協力によるもので、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

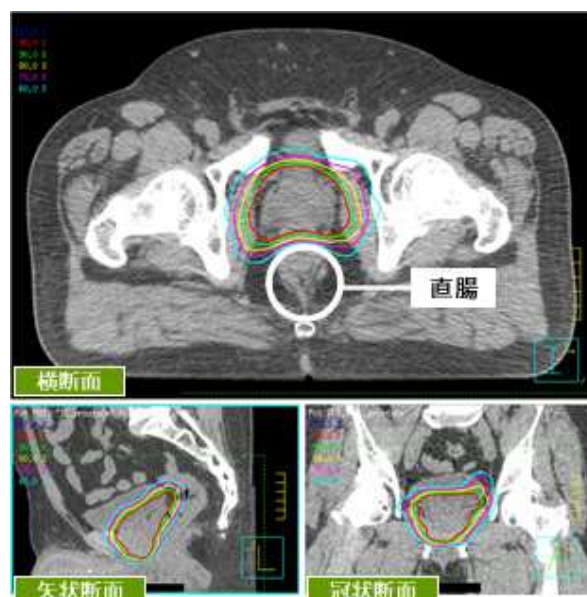
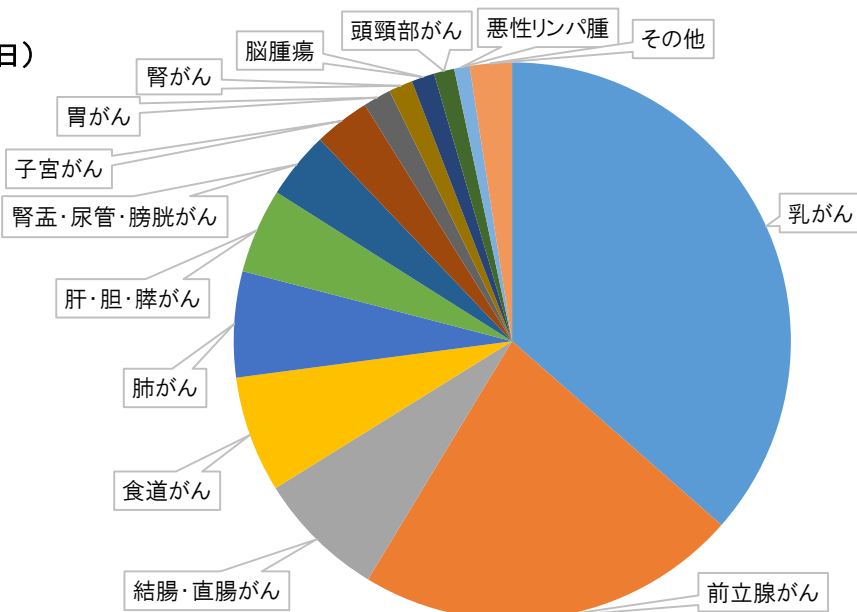
放射線治療は、治療装置の進歩に伴い以前にも増して高精度な照射ができるようになり、病巣部により的確に照射することができるようになりました。これにより、従来以上に効果的で、かつ身体に負担の少ない治療が実施できるようになりました。当センターでも、IMRT(強度変調放射線治療)やSRT(定位放射線治療)などの最新の治療技術を、前立腺癌や肺癌、食道癌などの治療に積極的に用いています。

■ スタッフ

加藤 大基 放射線治療センター長／放射線治療科部長
 切通 智己 放射線治療科医長
 山下 英臣 非常勤

■ 実績 (2012年7月23日～2021年12月31日)

	症例数	%
乳がん	653	36.5%
前立腺がん	397	22.2%
結腸・直腸がん	134	7.5%
食道がん	121	6.8%
肺がん	110	6.1%
肝・胆・膵がん	88	4.9%
腎盂・尿管・膀胱がん	70	3.9%
子宮がん	58	3.2%
胃がん	29	1.6%
腎がん	25	1.4%
脳腫瘍	24	1.3%
頭頸部がん	21	1.2%
悪性リンパ腫	16	0.9%
その他	44	2.5%
合計	1,790	

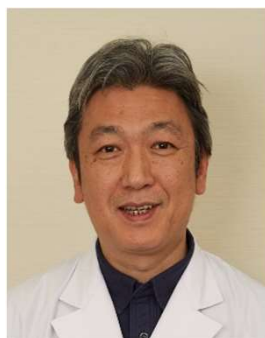


前立腺癌根治照射

前立腺および精嚢に放射線を集中させ、正常組織である直腸への線量を可及的に低減し、有害事象のリスク低減を図った。

■ 当院でVMAT法で治療した患者さんの事例

VMAT法は主として前立腺癌に対する根治的放射線治療法として実施しています。骨盤領域では直腸癌、肛門管癌、膀胱癌のほか、症例によっては肺癌や膵癌など、病巣が比較的限局していて周囲に重要臓器があり、通常の多門照射よりも線量分布において優位性があると思われる症例に適用範囲を広げています。



放射線診断科では川崎幸病院、さいわい鶴見病院、川崎幸クリニック、第二川崎幸クリニック、さいわい鹿島田クリニック、川崎クリニックで行われるCT(7台)・MRI(6台)の画像診断を行っています。

日常診療における画像診断需要は近年確実に増加し複雑化しています。

CTやMRIの技術的進歩はハード、ソフトともに日進月歩であり、それに伴う一検査あたりの情報量の増加はすさまじくより詳細な全身評価が可能となっていますが、逆に視るべき画像数の膨大さ、診断プロセスの複雑化から特に各科医師が外来ベースで患者さんを診療する場合に所見の見落としが発生する余地が増えています。

医療安全面でこれら欠点を補うことも、われわれ放射線診断科の業務の一部です。

高額医療機器の更新サイクルも過去と比べて短くなっておりコスト面からも一定期間で最大のパフォーマンスをあげる機器運用・医療資源の有効活用も、高額医療機器共同利用(オープン検査)の利点です。

ただし画像機器が進歩してもそれに見合った画像診断能力がなければ医療資源の有効活用や臨床医への貢献にはなりません。

そのため放射線診断科内でのカンファレンスや救急カンファレンスなどを通して診断能力の向上に励んでおります。

■ スタッフ	守屋 信和	放射線診断科部長
	高柳 美樹	放射線診断科医長
	青木 利夫	放射線診断科医長
	田中 絵里子	放射線診断科医長
	鹿島 正隆	放射線診断科医員
	小西 啓之	放射線診断科医員

■ 高額医療機器共同利用(オープン検査)ご依頼件数推移 (放射線診断科読影件数) (*2020年度はCOVID19のため外部検査を制限したため件数減少)

	2018年	2019年	2020年
MRI検査	2,608	2,321	950
CT検査	1,461	1,380	788
心臓CT検査	152	121	62
腹部・表在エコー検査	330	383	186

■ 3.0テスラMRIを導入

川崎幸病院は2017年10月より最上位機種3.0テスラMRI(SIGNA TM Architect 3.0T)を導入し、1.5テスラMRIと3.0テスラMRIの2台で稼働しています。3.0テスラMRIは1.5テスラMRIに比べ、より詳細な評価が可能です。

■ Dual energy CTを導入

GE社製・Revolution CTを導入しています。

ルーチン検査から、Perfusion、経時的な情報が得られる4D検査等で無駄な被ばくを無くし、従来のSingle energy CTにくらべ低線量で高精度な画像取得が可能です。

形態評価がメインであったCT画像診断から、コントラストの増強や、性状評価により形態・CT値では評価し難い病変での診断能向上・診断確信度の向上にも貢献します。



さいわい鶴見病院
院長
原 淳



<https://tsurumihp.jp/>

神奈川県横浜市鶴見区豊岡町21-1
Tel045-581-1417(代)

診療科

整形外科／関節外科／内科／糖尿病内科／循環器内科／消化器内科／乳腺外科／漢方外来／麻酔科

新年明けましておめでとうございます。

2019年11月1日から整形外科の診療・手術が開始され、2年超となりました。この2年間の大半は新型コロナウイルス感染症対策に奔走させられましたが、近隣のみならず神奈川県内・東京都の医療機関との連携や協力のおかげで診療を継続することができています。この場を借りて感謝申し上げます。

昨年も横浜市・川崎市・県内の医療機関・さらには広域の医療機関から多数のご紹介を頂き、計1221例の手術を実施いたしました。特に整形外科・関節外科疾患では多数の医師見学が訪れる手術を行っており、医療の質の向上に努めています。

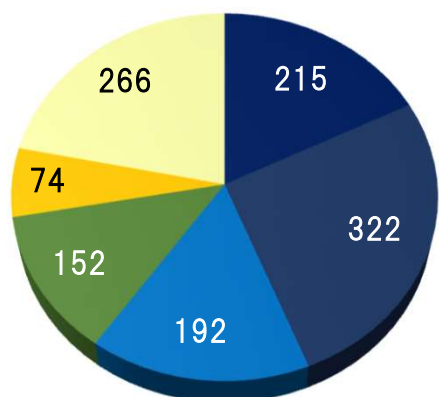
当院は、健康寿命拡大を命題に整形外科・関節外科・内科・麻酔科で診療しています。整形外科疾患の急性期手術治療のみならず、慢性内科疾患を合併した患者さんの在宅復帰支援やリハビリテーションが必要な患者さんの診療も行っています。その患者さんに対し当院の全スタッフは‘品’と‘熱’を持って接しています。お気軽に症例のご相談を頂ければと思います。

引き続きひとつひとつの疾患、一人一人の患者さんを丁寧に診療し、患者さんの生活の質の向上に寄与すべく、地域医療診療を謙虚に愚直に行って参ります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

治療実績 (2020年4月～2021年3月)

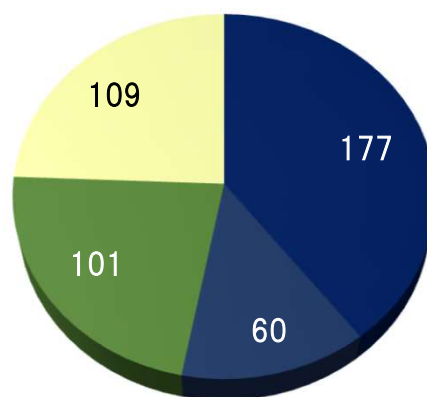
整形外科 総件数:1,221件



※関節外科手術件数含む

■膝周囲骨切り ■膝前十字靱帯/半月板 ■脊椎
■人工膝関節 ■人工股関節 ■その他

関節外科 総件数:447件



■膝周囲骨切り ■半月板
■人工膝関節 ■その他



川崎幸クリニック
院長
杉山 孝博

新年明けましておめでとうございます。

川崎幸クリニックは、1998年川崎幸病院の外来部門を独立させて設立されました。電子カルテ、完全予約制、全室個室の診察室、免震構造など、当時としては珍しい技術などを採用するとともに、地域医療の拠点として専門医療・在宅医療・検査機能の充実に取り組んできました。また、夕方診療・日曜祭日診療により365日切れ目のない診療体制をとっています。

2015年には、院内診療スペースが限界に達し、第二川崎幸クリニックを設立して機能的分離を行いました。2015年に地域医療部を設置して、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリに積極的に取り組んでいます。

多くの医療機関と同様に当院も発熱・感染症外来を2020年3月から設置して新型コロナ感染に対応してきました。とりわけ第5波の流行では、多い日には20数名のPCR陽性患者の診断や治療を行いました。次回の流行に備えて駐車場に仮設診察室〔コンテナハウス〕を設置いたしました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



<https://saiwaicl.jp/>

診療科

神奈川県川崎市幸区南幸町1-27-1
Tel044-544-1020(代)

一般内科／甲状腺外来／呼吸器内科／糖尿病外来／腎臓内科／神経内科／心療内科／老年科／もの忘れ外来／発熱・感染症外来／リウマチ外来／整形外科／皮膚科／耳鼻咽喉科／睡眠時無呼吸外来／小児科／女性科・漢方外来／訪問診療／健康診断



訪問診療



1階総合受付



6階受付



第二川崎幸クリニック
院長
関川 浩司

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

コロナ禍で明け暮れた昨年、いつの間にか年が暮れ、そしていつの間にか年が明けたという感覚を多くの方々が持っている事と思います。昨年の暮れ、世界中に瞬く間に広がったオミクロン株、今後はこの変異株と第6波に対して私たちがいかに立ち向かわなければならないか思案する日々ですが、第5波の経験を踏まえ、第6波では自宅療養者に対するリモート診療などの体制を整えました。

本年も引き続き患者、スタッフの安全を第一に考えながら臨機応変の対応を継続する一年といたします。また感染症に対する備えだけでなく、消化器系や血管系疾患に代表される急性期医療や、がん医療など‘求められる医療’を怯むことなく継続し続ける所存です。

皆さまの変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



第二川崎幸クリニック スタッフ

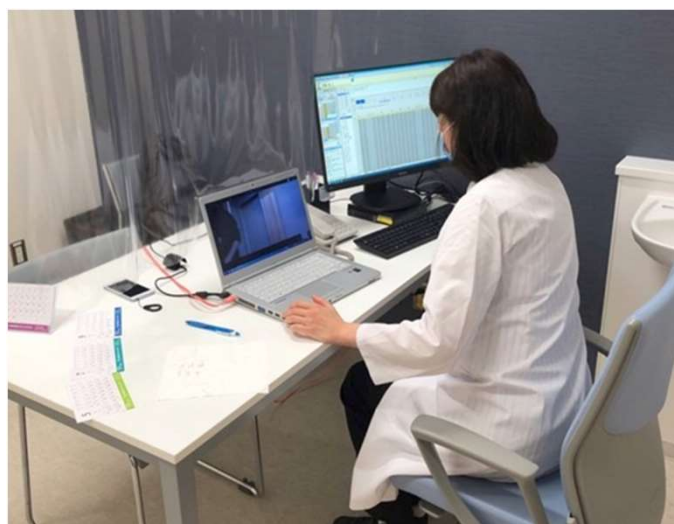


<https://saiwaicl-2.jp/>

神奈川県川崎市幸区都町39-1
Tel044-511-1322(代)

診療科

消化器系総合診療科／消化器内科／外科・消化器外科・肛門外科／食道外科／呼吸器外科／川崎心臓病センター（心臓外科／循環器内科）／脳神経外科／脳血管内治療科／川崎大動脈センター（大動脈外科）／下肢静脈瘤センター（血管外科）／脊椎外来／形成外科・美容外科センター／プレストセンター（乳腺外科）／泌尿器科／婦人科／逆流性食道炎外科／減量外科／漢方外来（コロナ後遺症外来・不眠外来）／痛み外来



リモート診療の様子



コロナ感染症対策について
動画を作成いたしました。



川崎クリニック
院長
央戸 寛治

新年明けましておめでとうございます。

川崎クリニックは、昭和55年に川崎幸病院より外来透析センターとして独立、開設しました。平成25年3月には日進町ビルディングへ移転とともに一般外来9ブースを新設し、日本人の死亡原因第2位である動脈硬化疾患(心筋梗塞、脳血管疾患)の主要な原因である糖尿病、CKD(慢性腎臓病)の早期診断、早期治療を中心とし、腎臓内科、CAPD外来、糖尿病科、循環器内科、整形外科、足外来、皮膚科の専門外来を展開しています。

透析部門では、人工透析治療床148床、昼夕夜3シフトで現在約360名の血液透析及び約30名のCAPD患者さんを外来治療しています。また、患者さんの『生活の質(Quality of Life)』を大切にすることをモットーとして技術水準の高い、身体的負担を可能な限り軽くする医療の提供を目指しています。本年もよろしくお願い致します。



<https://www.kawasakicl.jp/>

神奈川県川崎市川崎区日進町7-1
川崎日進ビル6階(外来)7,8階(透析)
TEL044-211-6500(透析)
TEL044-211-9259(外来)

診療科

腎臓内科／内科／糖尿病内科／循環器内科／
整形外科／腹膜透析(PD)外来／足外来／皮膚科



透析室



外来受付



透析受付



さいわい鹿島田クリニック
院長
朝倉 裕士



<https://www.kashimadacl.jp/>

神奈川県川崎市幸区新塚越201
ルリエ新川崎3階・4階
TEL044-556-0011(透析)
TEL044-556-2720(外来)

診療科

内科／消化器内科／循環器内科／腎臓内科／
泌尿器科／女性外来(婦人科)／乳腺外来／
甲状腺外来／腹膜透析(PD)外来／人工透析センター

新年明けましておめでとうございます。
さいわい鹿島田クリニックは平成12年4月、幸区
で唯一の外来透析施設として開設し、平成16年
1月に鹿島田駅から直結する「ルリエ新川崎」に移
転後18年目に入ります。4階を透析部門としており、
104床を見渡せるワンフロアで透析治療をうけてい
ただけます。令和2年4月からは腹膜透析(PD)外
来を開設し、より充実した診療体制を整えました。
3階では腎臓内科、内科、消化器内科、循環器
内科、婦人科、乳腺外来、泌尿器科、甲状腺外
来、検診部門からなる外来診療を行っており、4月
からは新たに常勤婦人科医の仲間が増える予定
です。
今後も医療の幅をさらに広げ、地域の方々に密着
した医療に貢献できるよう努めてまいります。本年
もよろしくお願い申し上げます。



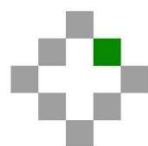
透析室



外来受付



総合待合



新緑脳神経外科
院長
太田 誠志

新年明けましておめでとうございます。

サイバーナイフを用いた定位放射線治療と内科、整形外科、脳神経外科を中心とする一般外来診療が当院の診療の中心です。

サイバーナイフは、ご依頼いただいてから可能な限り速やかに治療の計画を立て、治療を実施できるように心がけており、神奈川県内外の先生方よりご紹介いただいております。

外来診療においては、CT、1.5Tおよび3T MRI、超音波検査や各種生理検査など、緊急の検査にも対応しております。外来リハビリテーションにおいては、マッケンジー法を用いて、種々の疾患に伴う痛みのコントロールを柱のひとつとしております。また、外来リハビリテーション、訪問リハビリテーションを通じて、脳卒中などの維持期医療に貢献しています。

本年もよろしくお願い申し上げます。



<https://www.syck.jp/>

神奈川県横浜市旭区市沢町574-1
TEL045-355-3600(代)

診療科

脳神経外科／放射線治療科／整形外科／
内科／呼吸器内科／循環器内科／脳神経内科／
リハビリテーション科／訪問リハビリテーション



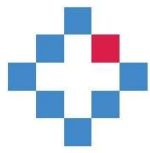
MRI(3T)撮影室



1階待合室



サイバーナイフ治療室



石心会在宅事業部は、社会医療法人財団石心会の「地域に密着した医療」という理念のもと、地域における医療機関と患者さんのご自宅をつなぐ要として誕生しました。

利用者の皆様や住民の方々が、住み慣れた地域で安心して在宅療養・介護を受けられるよう、24時間連絡体制による訪問看護でご家族の支援を行うとともに、介護に関する相談援助、ケアプランの作成など、包括的な在宅医療・看護・介護のサービスを提供しています。



<https://sekishinkai-zaitaku.jp/>

神奈川県川崎市幸区新塚越201
ルリエ新川崎6階

※全て同フロアにございます。

■ さいわい訪問看護ステーション

TEL044-556-4213

<https://sekishinkai-zaitaku.jp/houmonkango/>

事業内容 訪問看護(24時間対応体制)

■ かしまだ地域包括支援センター

TEL044-540-3222

<https://sekishinkai-zaitaku.jp/regional-center/>

事業内容 地域包括支援(川崎市委託事業)、介護予防ケアマネジメント事業

■ 新川崎居宅介護支援事業所

TEL044-522-6307

<https://sekishinkai-zaitaku.jp/shinkawasaki/>

事業内容 居宅介護支援

■ 福祉用具レンタルさいわい

TEL044-522-6312

<https://sekishinkai-zaitaku.jp/rental-saiwai/>

事業内容 福祉用具貸与・特定福祉用具販売



患者さんのご紹介について

川崎幸病院は外来分離しています

川崎幸病院は急性期機能をより強化充実するため、専門外来を川崎幸クリニック・第二川崎幸クリニックとして分離独立しています。また外来透析・専門外来施設は、さいわい鹿島田クリニック・川崎クリニックがごさいます。診療予約がとりにくい場合やご不明な点がございましたら、川崎幸病院地域医療連携室までご連絡ください。



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院



緊急性のある患者さんのご紹介

救急患者さんのご紹介・オープン検査

TEL:044-544-4611 (代表)(24時間対応)

TEL:044-544-4638 (地域医療連携室直通)



医療法人社団 新東京石心会

さいわい鶴見病院

TEL:045-581-1417



社会医療法人財団 石心会

川崎幸クリニック

社会医療法人財団 石心会

第二川崎幸クリニック

共通予約センター

TEL:044-511-2112



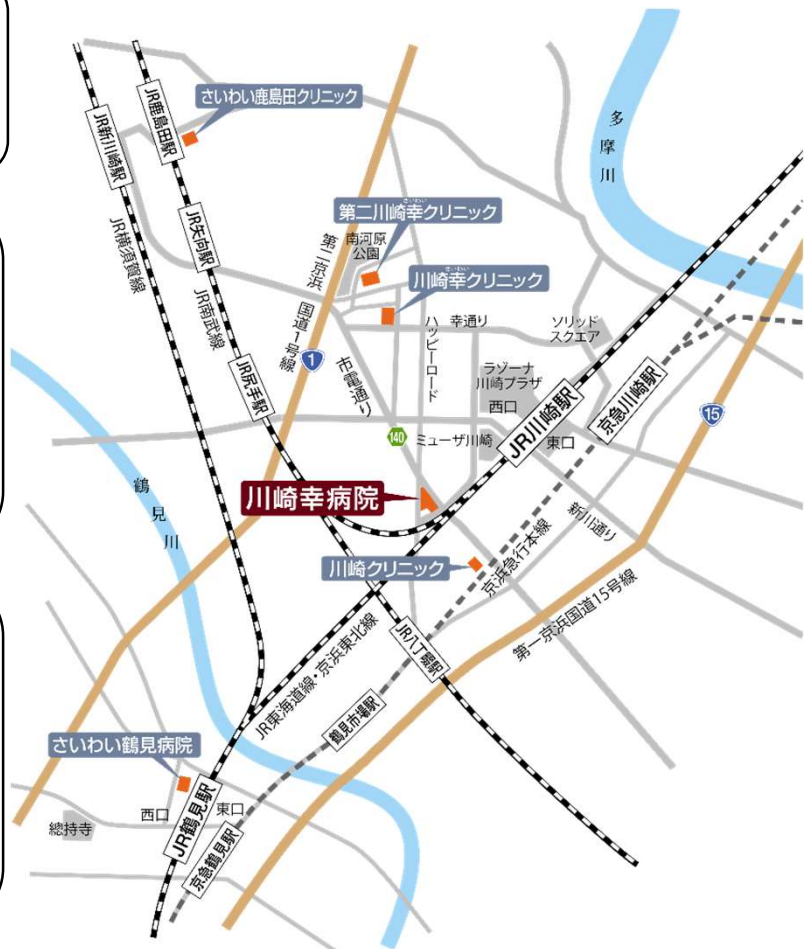
社会医療法人財団 石心会

川崎クリニック

TEL:044-222-9259

さいわい鹿島田クリニック

TEL:044-556-2722



医療法人社団 東京石心会

新緑脳神経外科

横浜サイバーナイフセンター

TEL:045-355-3600(代表)

TEL:045-555-7333

(サイバーナイフセンター)

広域地図

